

募集人員

総合型選抜入学試験(体験型)…入学定員の35%

エントリー／出願資格

本学を専願とする者で、次のいずれかに該当する者

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2021年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2021年3月修了見込みの者。
3. 高等学校卒業程度認定試験(旧:大学入学資格検定)に合格した者、または2021年3月31日までに合格見込みの者。
4. 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2021年3月修了見込みの者。
5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
6. 文部科学大臣の指定した者。
7. 本学が、高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者。

※出願資格7で受験を希望される方は、出願開始の1カ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

※外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、または2021年3月修了見込みの者、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者は、本区分にはエントリー／出願できません。

※卒業・修了・合格見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2021年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学資格を取り消します。

エントリー時提出書類

※エントリー／出願の流れは『募集要項2021』P.28～31を参照してください。

- インターネット志願票
- 志望理由書
- 調査書

出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。

※出願の時点で最新の評定平均値を基準とします。なお、第3学年の成績を記載できない場合は、調査書の備考欄等にその理由を記載してください。

※廃校・被災・その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書を提出してください。

※大学入学資格検定合格者の方、高等学校卒業程度認定試験合格(見込)の方は、調査書に代わって提出する書類があります。募集要項2021 P.27を参考に準備してください。

なお、書類は特に指定がないかぎり原本を提出してください。

※調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

※出願認定後の提出書類は、認定通知に同封してお知らせします。

入学試験日程

区分	エントリー期間	体験・面談日	出願認定発表日	出願期間	合格発表日	入学手続き期間
総合型選抜 入学試験 (体験型)	9/15(火)～9/18(金)	9/26(土) 9/27(日)	10/2(金)	10/2(金)～10/15(木) 当日消印有効	11/2(月)	11/2(月)～11/19(木) 当日消印有効

※エントリー／出願期間について、国外からの場合は締切日までに必着とします。当日消印有効ではありませんのでご注意ください。

選考・評価方法

	選考方法	評価方法
体験型	体験プログラムに参加し、面談を受けていただきます。面談の際に作品や資料の持参を要する学科があります。	志望理由書、体験プログラム、面談、レポート等…190点(総合評価) +調査書…10点 → 計200点満点 ※体験プログラムで制作した作品は、評価の対象となりません。志望理由書や体験プログラム、面談、レポート等を通じて、学科・コースへの適性を評価します。

※各学科の体験プログラムや、面談時に必要な持参物については各学科詳細ページを参照してください。

環境デザイン学科

選考方法

①志望理由書	志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	<p>環境デザインに関する入門的なプログラム「空間体験プログラム」、「模型体験プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。</p> <p>■空間体験プログラム 9月26日(土) 環境デザインに関する授業を受講した後に、授業から学んだことや感想等を600字程度で作文してもらいます。授業は、専門的な知識がなくても理解できるもので、建築やまちやランドスケープなどの空間についての学びを体験してもらいます。作文は、環境デザイン分野への学習意欲や姿勢を知るためのもので、面談のときの話題の材料にします。</p> <p>■模型体験プログラム 9月27日(日) 一人ひとりに誰にでも簡単に扱える単純な模型材料を与えます。作業の説明ののち、与えられたテーマにしたがって自由に材料を組み合わせる模型を作ります。このプログラムは専門的な知識や経験が無くても十分に理解し、取り組むことができる内容です。なお、ここで作る作品は、受験生の作品づくりに対する意欲や姿勢を知るためのもので、面談時の話題の材料にします。</p>
③面談	複数教員による個人面談で、1人15分程度を予定しています。志望理由書の内容や、体験プログラムの内容にふれながら、受験生の皆さんが環境デザインの分野に抱いている関心や将来の夢、本学科のデザイン教育の特徴などを話題にします。面談を通じて、皆さんの学習意欲や将来性を見出します。
④調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)	
12:35	集合(受付開始 11:50)
12:50	ガイダンス
13:00	体験プログラム
14:30	面談諸注意の説明
14:45	個別面談(一人15分程度)
16:15	終了予定

持参物 ※両日共通

・筆記用具一式

プロダクト・インテリアデザイン学科

選考方法

①志望理由書	志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	<p>グループに分かれて、生活スタイルのデザイン提案を体験してもらいます。「表現・制作プログラム」、「アイデア・企画プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。</p> <p>■表現・制作プログラム 9月26日(土) 身近な生活用品をテーマに、グループに分かれて問題点を探出し、使いやすいデザインを考案します。その後、個人での工作作業に入り、モデルの制作体験をしてもらいます。工作作業をおこないますので、当日は汚れてもよい服装を各自持参してください。</p> <p>■アイデア・企画プログラム 9月27日(日) 地域社会や日常生活をテーマに、グループに分かれて問題点を探出します。その後、個人での企画体験に入り、ものづくりの視点から新しい生活スタイルやワークショップ、イベントなどの提案をもらいます。簡単な工作を行うこともありますので、当日は汚れてもよい服装を各自持参してください。</p>
③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談を予定しています。双方向の個人面談により、お互いの理解を深めると同時に、受験生の学習意欲や可能性を見出します。体験プログラムの感想等に加え、受験生の皆さんがプロダクト、インテリアという分野に対して抱いている関心や将来の夢などを話題に、理解を深めてもらう機会にします。自己PRのための持参資料(募集要項2021 P.49を参照)があれば持参してください。今まで体験したクラブ活動、趣味、地域のイベントなど、あなたの活動をまとめた資料や成果物でもかまいません。持参物がある場合は、面談時の資料とします。
④レポート	体験プログラムを通してのレポートを作成してもらいます。レポート作成のために、いかに体験プログラムを有効活用できるかが重要になります。レポートのテーマは、体験プログラム中に提示します。
⑤調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)	
9:45	集合(受付開始 9:00) ガイダンス
10:00	体験プログラム
12:00	昼食 (各自持参してください)
13:00	体験プログラム・面談
15:30	発表会
16:00	レポート作成
17:00	終了予定

持参物 ※両日共通

・筆記用具一式
・昼食

ビジュアルデザイン学科

選考方法

①志望理由書	志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	両日とも同じ内容でおこないます。 エントリーの段階では日程の選択はできません。プログラム実施の 2 日前までに配信するエントリー受付票を確認してください。 〔作文にもとづく個人制作〕 課題テーマをもとに、作文と個人制作をおこないます。文章を書くことや絵を描くことは、学科での学びにおける基本的な素養です。まず、与えられたテーマで短い作文を作成してもらいます。その後、作文の内容に沿って個人制作してもらいます。紙を切り貼りしたり着色したり、あるいはさまざまな素材の特性をいかしてコラージュしたりして制作します。とくに難しい技術は必要としません。
③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。教員との個人面談を通してデザインや学習に対する意欲や可能性を見いだすことを目的としています。面談の際には、 <u>自分をアピールできる効果的なPR資料を必ず持参してください(作品に限らず、どのような形式のものでもかまいません)</u> 。
④調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)
9:45 集合(受付開始 9:00) ガイダンス
10:00 体験プログラム
12:30 昼食 (各自持参してください)
13:10 面談説明
13:30 面談
15:45 終了予定

持参物 ※両日共通

- ・筆記用具一式
- ・ハサミ
- ・カッターナイフ
- ・色鉛筆
- ・のり
- ・昼食
- ・PR資料(5~10点)

映像表現学科 デジタルクリエイションコース

選考方法

①志望理由書	志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	両日とも同じ内容でおこないます。(計 4 回実施) エントリーの段階では日程の選択はできません。プログラム実施の 2 日前までに配信するエントリー受付票を確認してください。 〔アイデア・企画プログラム〕 デジタルクリエイションコースの「講義・課題」を体験するプログラムです。テクノロジーを用いた架空の製品、サービス、作品に関して、指定されたテーマをもとにアイデアシートを作成します。アイデアシートを書画カメラで投影しながら、1人3分程度でプレゼンテーションを行っていただきます。簡単なディスカッションを含める場合があります。
③面談	複数教員による1人10分程度の個人面談をおこないます。志望理由書や体験プログラムの内容に触れながら、皆さんの学習指向や将来性を見いだすことを目的としています。面談時には、 <u>過去3年以内の作品を3点以上持参してください</u> 。絵画、イラスト、映像、立体物等、作品の種類は問いませんが作品として完成されているもの。文化祭等、一定規模の活動記録も認める場合があります。3点以上含まれていればポートフォリオにまとめたものやパソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。
④レポート	体験プログラムをもとにレポート提出終了時間までにレポートを提出します。面談待ち時間、面談終了後の時間を使ってレポート作成します。
⑤調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)
9:45 集合(受付開始 9:00) ガイダンス
10:00 体験プログラム 発表会
11:15 面談・レポート課題
12:45 レポート提出 終了予定
14:45 集合(受付開始14:00) ガイダンス
15:00 体験プログラム 発表会
16:15 面談・レポート課題
17:45 レポート提出 終了予定

持参物

- ・筆記用具一式
- ・持参作品(3点以上)

映像表現学科 映画コース／アニメーションコース

選考方法

①志望理由書	志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	映像表現に関する入門的なプログラム「個人制作プログラム」、「グループ制作プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。 ■個人制作プログラム 9月26日(土) 〔セルフポートレート〕 鉛筆デッサン、色鉛筆、絵の具等を用いて手描きで自身を描いてもらいます。(※映画コースのみ写真や大学で用意する資料によるコラージュも可)単純に容姿を写すのではなく、自らと客観的に向き合い分析することが大切です。スクリーンを用いて発表してもらいます。個人による制作作業です。 ■グループ制作プログラム 9月27日(日) 〔物語を構成〕 提示されたスチル写真、イラスト等の各種イメージ20点あまりから4点を選択し、物語を構成します。その物語をスクリーンを用い演出を加えて発表します。3～4名のグループに分かれての作業です。
③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。体験プログラムでの内容をもとに、面談をおこないます。まずは、体験プログラムでの印象や感想を述べてください。そうした会話をきっかけに、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。面談の際には、 <u>自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。</u> ◆映画コース : 作品や取り組みの範囲は限定しません。 ◆アニメーションコース : 主として「模写」「デッサン」「透視図」などの絵を見せてください。ノートの隅に描いた落書きのようなものでもかまいません。 ※映像作品を持参する場合は、パソコン・スマートフォン等の再生装置もあわせて用意してください。また映像作品は、限られた面談時間内に提示できるようにしてください。 ※各種検定・資格、競技の成果を示す証明書がある場合は持参してください。
④レポート	両日とも午後からは面談ですが、順番がくるまでの時間、または、面談後の時間を有効に使って体験プログラムについてのレポートを作成し、提出してもらいます。
⑤調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)
9:45 集合(受付開始 9:00) ガイダンス 体験プログラム 発表会・講評
12:00 昼食 (各自持参してください)
13:00 面談・レポート課題
17:00 レポート提出 終了予定

持参物

9/26(土)
・鉛筆・色鉛筆 ・水性絵具道具一式 ・昼食
9/27(日)
・筆記用具一式 ・昼食

まんが表現学科

選考方法

①志望理由書	志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
②体験プログラム	〔まんがに挑戦する〕 まんが表現学科の「講義・課題」を体験するプログラムです。講義で内容をきちんと理解したうえで、課題となるまんが制作に取り組むという流れを実感してもらいます。ペン入れや仕上げなど専門的な知識、技術は必要ありません。あなたの基礎力や発想力を試すプログラムです。グループ分けしますが、個人の制作が中心となります。 持参物 ・筆記用具一式 ・昼食 ・持参作品(2日目面談用)
③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。まずは、体験プログラムでの印象や感想を述べてください。そうした会話をきっかけに、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。面談の際には、 <u>面談資料として作品の持参が必要となります。作品については、募集要項2021 P.46「持参について」を確認してください。</u>
④レポート	体験プログラムをもとにレポートを翌日(2日目)に提出してもらいます。レポートは2日目の面談終了後17:00までに提出することになります。面談待ち時間、面談終了後の時間を有効に使ってレポートを作成してもらいます。
⑤調査書	調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)
9:45 集合(受付開始 9:00) ガイダンス 体験プログラム
12:00 昼食 (各自持参してください)
13:00 体験プログラム
17:00 終了予定
9/27(日)
9:45 集合(受付開始 9:10) 体験プログラム講評
11:30 昼食 (各自持参してください)
12:30 面談
16:00 面談終了予定
17:00 レポート提出締め切り

ファッションデザイン学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

ファッションデザインに関する入門的なプログラム「アイデア・企画プログラム」、「表現・制作プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■アイデア・企画プログラム 9月26日(土)

与えられたテーマについて、スタイリングを提案するボードを作成します。用意された雑誌を使ってメンズ、またはレディースのスタイリングについて画面構成します。教員とコミュニケーションを図りながら各自で制作をおこない、最後に、面談の中で完成した作品にタイトルをつけて制作意図を発表します。

■表現・制作プログラム 9月27日(日)

ドレーピングについての説明を受け、テーマに基づいて素材を作ります。制作した素材を用いて1/2サイズのボディに立体造形をします。複数の素材を組み合わせることで生まれる造形表現の可能性や素材の持つ特性について理解を深め、教員とコミュニケーションを図りながら各自で制作をおこないます。最後に、面談の中で完成した作品にタイトルをつけて制作意図を発表します。

③面談

面談は、午後から個別に実施します。複数教員による、1人15分程度を予定しています。個人面談により、教員と受験生とのお互いの理解を深め、学習意欲や可能性を見出すことを目的としています。自分をアピールできる効果的なPR資料があれば持参してください。(作品に限らず、活動報告書など、どのような形式のものでもかまいません。)

④調査書

調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)

9:45 集合(受付開始 9:00)
体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 面談
15:30 終了予定

持参物 ※両日共通

- ・筆記用具一式
- ・昼食

アート・クラフト学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

アートやクラフトに関する入門的なプログラム「平面表現プログラム」、「切り絵プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■平面表現プログラム 9月26日(土)

与えられた写真(例:動物、植物、自動車など)と言葉(例:風景、季節、思い出など)からそれぞれ一つずつ選び、その写真と言葉から発想してケント紙に鉛筆や色鉛筆で平面表現します。このプログラムでは、教員に相談したり、アドバイスを受けたりすることができます。作品が完成したら、題名と制作意図を用紙に記入します。最後に、全員の作品を並べて、講評会をおこないます。

■切り絵プログラム 9月27日(日)

色紙を切ることで生まれるさまざまな形を、ケント紙の画面に構成して、テーマを表現します。このプログラムでは教員に相談したり、アドバイスを受けたりすることができます。作品が完成したら、題名と制作意図を用紙に記入します。最後に、全員の作品を並べて、講評会をおこないます。

③面談

複数教員による1人15分の個人面談をおこないます。受験生と教員の相互理解を深めるとともに、美術やクラフトに対する意欲や可能性を見出すことを目的としています。主な面談の内容は、体験プログラムの感想、美術やクラフトに関すること、将来の目標などです。

④調査書

調査書は面談の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/26(土)・9/27(日)

9:45 集合(受付開始 9:00)
ガイダンス
課題説明
10:15 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 面談・体験プログラム
16:00 講評会
16:30 終了予定

持参物

- 9/26(土)
- ・筆記用具一式
- ・昼食
- 9/27(日)
- ・筆記用具一式
- ・ハサミ
- ・カッターナイフ
- ・コンパス・定規
- ・昼食